Kodak EasyShare
LS753 ズームデジタルカメラ

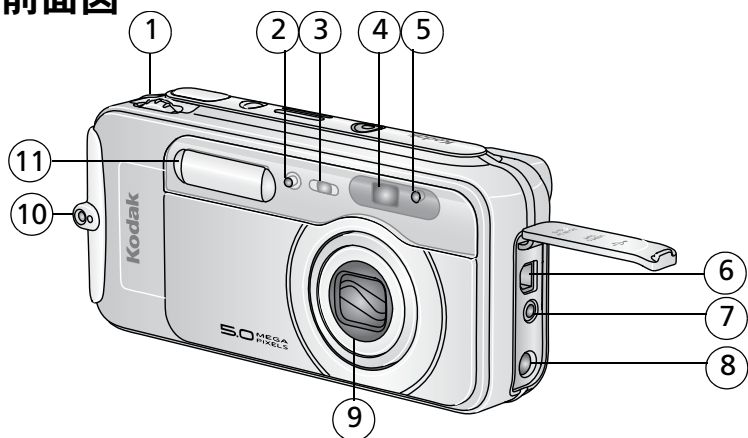
ユーザーガイド

カメラに関するヘルプ：www.kodak.co.jp

Eastman Kodak Company
343 State Street
Rochester, New York 14650

すべての画面はハメコミ式合成です。

P/N 4J1101_ja

前面図

1 ジョグダイヤル
（カメラのモードの選択用）

2 マイクロフォン

3 セルフタイマー／動画ライト

4 ビューファインダーのレンズ

5 フラッシュセンサー

6 USB ポート

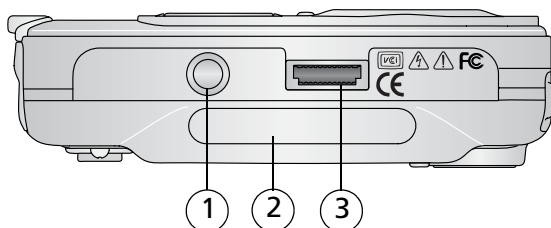
7 ビデオ出力 （TV 接続用）

8 AC アダプター（**別売**）用
DC 入力（5V）

9 レンズ／レンズカバー

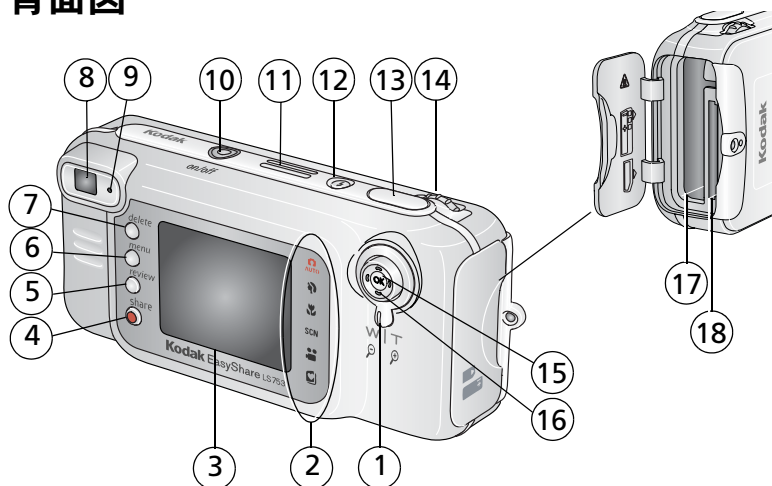
10 ネックストラップ取り付け部

11 フラッシュユニット

底面図

1 三脚ソケット／ EasyShare カメラドックまたは
プリンタードックの取り付け部

2 カメラのシリアル番号が記載されたデータプレート

3 ドックコネクタ

背面図

1 ズーム（広角／望遠）／拡大

2 カメラのモード

3 液晶画面

4 Share（シェア／共有）ボタン

5 Review（再生）ボタン

6 Menu（メニュー）ボタン

7 Delete（削除）ボタン

8 ビューファインダー

9 レディライト

10 オン／オフボタン／電源ライト

11 スピーカー

12 フラッシュ／ステータスボタン ⚡

13 シャッターボタン

14 ジョグダイヤル（カメラのモードの選択用）

15 OK ボタン（押す）

16 4方向コントローラ ◀/▶ ▲/▼

17 バッテリースロット

18 SD/MMC カード（**別売**）用スロット

目次

1 はじめに

パッケージの内容

1 カメラ
（ネックストラップ付き）

2 専用ドックインサート *

3 USB ケーブル

4 Kodak EasyShare
リチウム充電式電池（KLIC-5000）

5 電池充電器

6 オーディオ／ビデオケーブル
（画像および動画のテレビでの
表示用）

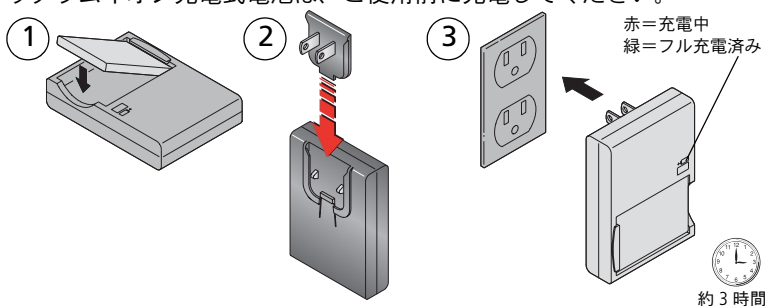
* 専用ドックインサートは捨てずに保管しておいてください。別売の Kodak EasyShare カメラドックやプリンタードックで使用するために必要になります。LS753 カメラは、ドックに付属のユニバーサルインサートには適合しません。

図示していないもの：ユーザーガイド、クイックスタート ガイド、Kodak EasyShare ソフトウェア CD。内容は予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアのインストール

重要： カメラ（またはドック）をコンピュータに接続する**前に**、Kodak EasyShareソフトウェアCDからソフトウェアをインストールしてください。先にインストールしないと、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。「ソフトウェアのインストール」（36 ページ）または『クイックスタートガイド』を 参照してください。

電池の充電

リチウムイオン充電式電池は、ご使用前に充電してください。

1 電池を充電器に取り付けます。

2 お使いの電気コンセントに合うプラグを取り付けます。

3 充電器をコンセントに差し込みます。

4 ライトが緑に変わったら、電池を取り外して充電器のプラグを抜きます。

充電は約 3 時間で完了します。

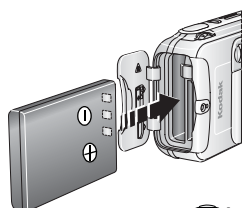
電池の寿命については、3 ページを参照してください。

別売の Kodak EasyShare プリンタードックまたはカメラドックを使用して、電池を充電することもできます。これらの製品やその他のアクセサリーは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

電池の装着

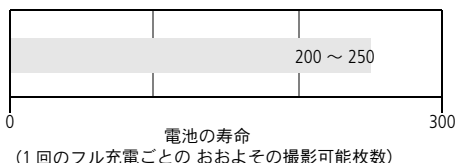
警告：

Kodak EasyShare リチウム充電式電池（KLIC-5000）を、図に示す向きに挿入します。これ以外の電池は使用しないでください。

注： 電池を取り出すときはカメラを必ずオフにしてください。

1 電池カバーを開きます。
2 電池を図に示す向きにして挿入します。
3 電池カバーを閉じます。
4 取り外すには、リリースタブをスライドさせて電池を引き出します。

電池に関する重要な情報

電池の寿命

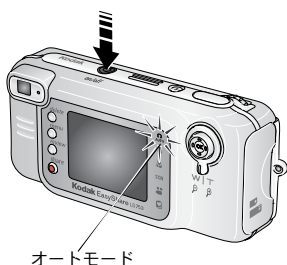
お使いのカメラのパッケージには、Kodak EasyShare リチウム充電式電池が同梱されています。実際の電池の寿命は、使い方によって異なる場合があります。

Kodak EasyShare リチウム充電式電池（KLIC-5000）以外の電池は使用しないでください。一部の製造会社の 3.7V リチウムイオン充電池は、このカメラとの互換性がありません。認可していないアクセサリーの使用による損害は、保証の対象外となります。

電池を長持ちさせる

- 次の操作を行うと電池が著しく消耗します。必要な場合以外はこれらの操作を行わないようにしてください。
  - 画像をカメラの液晶画面で表示する（28 ページを参照）
  - フラッシュを必要以上に使用する
- 電池の接触部分に汚れがあると、電池の寿命に影響する場合があります。
- 気温が 5 ℃以下になると電池の効率が悪くなります。低温の場所でカメラを使う場合は、予備の電池を持参し、冷えないように保管してください。冷たくなって使用できなくなった電池は捨てないでください。室温に戻せば再び使用できる場合があります。
- 電池の充電のためのアクセサリーについては、www.kodak.co.jp でご確認ください。

電池の安全な取り扱い

- 硬貨などの金属に電池が触れないようにします。金属に触れると、ショート、放電、または漏電が発生したり、熱くなったりすることがあります。
- 充電池を廃棄する方法については、58 ページを参照してください。

カメラの電源のオンとオフ

■ 電源をオンにする

**オン/オフボタンを押します。
オン/オフボタンが青色に点灯します。**

電源がオンになったときは、常にオートモードが選択されています。

■ 電源をオフにする

**オン/オフボタンを押します。
オン/オフボタンの青色が消灯します。**

実行中の操作がある場合はその操作が完了してからオフになります。

注： カメラの電源をオンにしたときにレンズが障害物に接触すると、レンズは引っ込みます。レンズが障害物に接触していないことを確認して、もう一度オン／オフボタンを押します。

液晶画面の変更

目的	操作方法
カメラの液晶画面をオンまたはオフにする	OK ボタンを押します。
カメラの電源をオンにしたときに液晶画面がオフになるように、カメラの液晶画面のライブビュー設定を変更する	「カメラのカスタマイズ」（24 ページ）を参照してください。
ステータスアイコンの表示と非表示を切り替える	▲を押します。

日付と時刻の設定

日付と時刻の初期設定

初めてカメラの電源をオンにした場合や長期間にわたって電池を外していた場合は、「**日付／時刻がリセットされています**」というメッセージが表示されます。

1 ［日付／時刻の設定］がハイライト表示されます。OK ボタンを押します。

   日付と時刻を後で設定する場合は［やめる］を選択します。

2 下の「2 回目以降の日付と時刻の設定」の手順 4 に進みます。

2 回目以降の日付と時刻の設定

1 カメラの電源をオンにします。Menu ボタンを押します

2 ▲/▼ を押して設定メニューをハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼ を押して日付／時刻をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

4 ▲/▼ を押して日付と時刻を調整します。次の設定に進むには ◀/▶ を押します。

5 設定が完了したら OK ボタンを押します。

6 Menu ボタンを押してメニューを終了します。

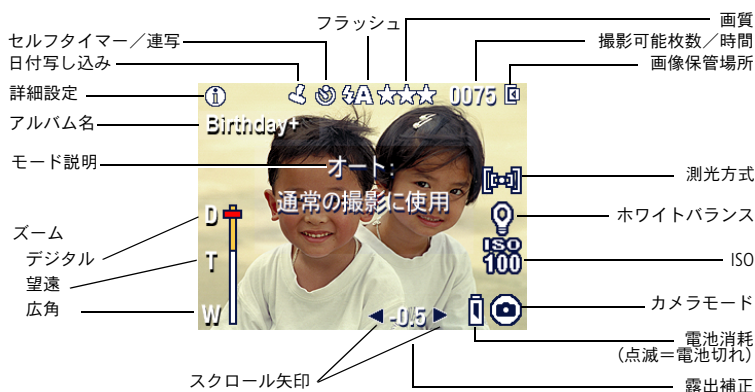
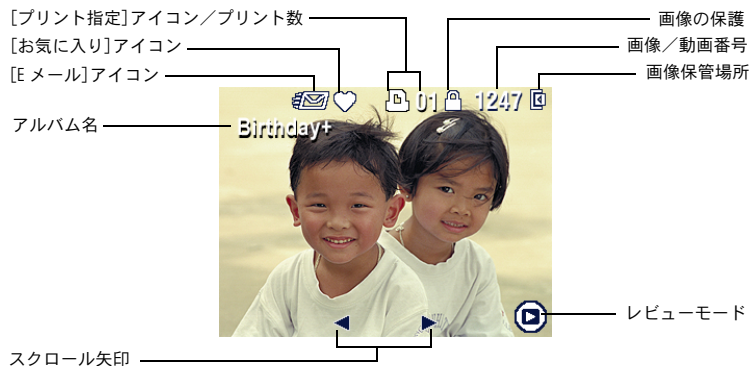
注： コンピュータのオペレーティングシステムによっては、カメラを接続したときに、Kodak EasyShare ソフトウェアを使用してカメラの時計を更新できる場合があります。詳しくは、EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

カメラ設定／画像設定の確認

カメラの液晶画面に表示されるアイコンは、現在有効なカメラ設定と画像設定を示します。▲を押して、ステータス情報をオンまたはオフにします。

ℹアイコンが表示されている場合は、フラッシュ／ステータスボタンを押すと追加の設定が表示されます。

撮影モード

現在有効になっているカメラの設定状況のみが表示されます。

レビューモードの画面

フラッシュ／ステータスモードの画面

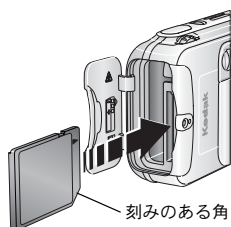
フラッシュ／ステータス ボタンを押します。フラッシュモードの画面の下部に、現在のカメラのステータスアイコンが表示されます。

SD/MMC カードへの画像と動画の保管

カメラには32 MBの内蔵メモリーが搭載されています。SD/MMCカードは、取り外しおよび再利用可能で、画像や動画の保管場所として使用することができます。

警告：

図に示すようにカードを挿入します。強く押し込まないでください。強く押し込むと、カメラまたはカードが破損することがあります。

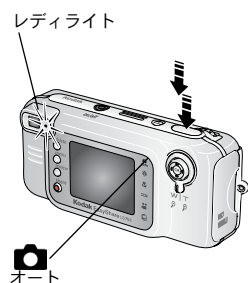
緑色のレディライトが点滅しているときは、カードの挿入または取り外しを行わないでください。画像、カード、またはカメラが破損する場合があります。

SD/MMC カードを挿入する方法

1. カメラの電源をオフにして、カードカバーを開けます。
2. カードの向きをカメラの本体に記載された向きにします。
3. カードをスロットに押し込み、コネクタに装着してカードカバーを閉じます。
4. カードを取り外すには、カメラの電源をオフにします。カードを押し込んで一度指を離します。カードの一部が出てきたら引き出します。

注： 初めてカードを使用する場合は、撮影する前にカードをフォーマットしておくことをお勧めします（25 ページ）。一部の製造会社のカードは、動画の録画機能が制限されています。

保管可能容量については、59 ページを参照してください。カードは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

2 画像と動画の撮影

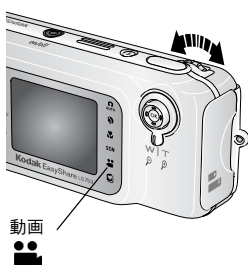
画像の撮影

1 ビューファインダーまたはカメラの液晶画面を使用して、被写体を捉えます（カメラの液晶画面をオフにするには OK ボタンを押します。13 ページを参照）。

2 シャッターボタンを**半分押した状態**で、露出と焦点を合わせます。

3 レディライトが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。

レディライトが緑色で点滅して、画像が保存されます。ライトが緑色で点滅中は、引き続き撮影することができます。レディライトが赤色の場合は、緑色に変わるまで待ちます。

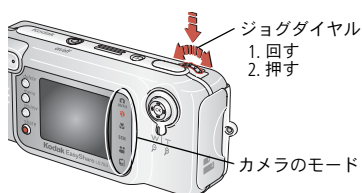
注： デフォルトの撮影モードは、オートになっています。
他の画像および動画モードについては、11 ページを参照してください。

動画の撮影

1 ジョグダイヤルを回して、動画をハイライト表示します。ジョグダイヤルを押します。

2 ビューファインダーまたはカメラの液晶画面を使用して、被写体を捉えます

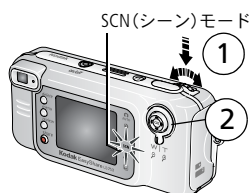
3 シャッターボタンを完全に押し下げてから離します。録画を停止するには、シャッターボタンをもう一度押して離します。

注： シャッターボタンを完全に押し下げ、2 秒以上押したままにした場合は、シャッターボタンを離すまで録画することができます。

カメラのモード

条件に合うモードを選択します。

1. ジョグダイヤルを回して、モードをハイライト表示します。
2. ジョグダイヤルを押して、ハイライト表示したモードを選択します。

使用するモード	モードの説明
オート	通常の撮影に使用します。露出、焦点、およびフラッシュは自動的に設定されます。
ポートレート	人物の撮影に適しています。被写体がシャープになり、背景がぼんやりします。低レベルの強制発光が自動的に点灯して、暗さを和らげます。肩より上の部分に合わせて拡大します。
マクロ	被写体とレンズの距離を、広角の場合は 5 ～ 100 cm、望遠の場合は 30 ～ 100 cm に近づけます。フラッシュはできるだけ使わずに自然光を利用してください。カメラの液晶画面を使用して、被写体を捉えます。
SCN シーン	さまざまなシーンにあわせた設定で簡単に撮影できます（「シーンモード（SCN）」（12 ページ）を参照）。
動画	音声付きの動画を撮影できます（「動画の撮影」（10 ページ）を参照）。
お気に入り	お気に入りを表示します（「お気に入りの画像のタグ付け」、41 ページを参照）。画像をカメラの内蔵メモリーのお気に入りセクションに読み込むには、EasyShare ソフトウェアを使用します。 **注：** お気に入りモードで Review ボタンを押すと、カードまたはカメラの内蔵メモリー内の画像や動画を表示することができます。お気に入りモードでは、画像の撮影はできません。

シーンモード（SCN）

1. ジョグダイヤルを回して SCN（シーン）モードの位置にし、ジョグダイヤルを押します。
2. ◀/▶ ▲/▼ を押して、目的にあったシーンモードを選択します。
   3 ～ 4 秒するとモード説明が自動的に消えます。

使用する SCN モード	モードの説明
夜景	遠距離の夜景の撮影に適しています。
夜景ポートレート	夜景または光の弱い状態での人物の撮影時に赤目を軽減します。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。シャッター速度が遅いのでフラッシュの点灯後数秒間は、被写体を動かさないように注意してください。
スポーツ	動きのある被写体に適しています。速いシャッター速度で動きに対応します。
遠景	遠距離の撮影に適しています。フラッシュは、オンにしないと点灯しません。固定フォーカスは無限遠に設定されています。
スノー	雪景色の撮影に適しています。露出補正は +1.0 EV に設定して、画像が暗くなるのを防ぎます。
ビーチ	砂浜での撮影に適しています。露出補正は +1.0 EV に設定して、画像が暗くなるのを防ぎます。
パーティー	室内での人物の撮影に適しています。赤目を防ぎます。
セルフポートレート	自分自身のクロースアップ撮影に適しています。焦点を適切に合わせ、赤目を防ぎます。
マナー／美術館	操作音やフラッシュを禁止されている場合に使用します。
花火	花火の撮影に適しています。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。

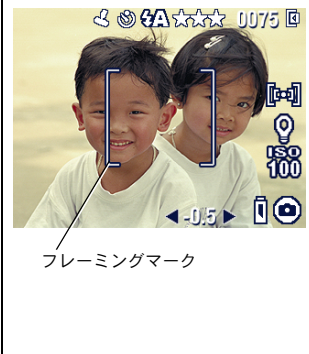
逆光	逆光（被写体の後ろに光源がある状態）での撮影に適しています。
フラワー	花や小さい被写体のマクロ撮影に適しています。
チャイルド	動きのある子供たちの撮影に適しています。

液晶画面を使用しての撮影

1 カメラの液晶画面で被写体を捉えます。

オートフォーカスフレーミングマークについては 13 ページを参照してください。

2 シャッターボタンを**半分押した状態**で、露出と焦点を合わせます。フレーミングマークの色が変わったら、シャッターボタンを完全に押し下げて撮影します。

3 カメラの液晶画面をオフにするには OK ボタンを押します。

オートフォーカスフレーミングマークの使用

カメラの液晶画面をビューファインダーとして使用している場合は、カメラの焦点が合っている場所を示すフレーミングマークが表示されます。

注： この手順は動画では使用できません。

1 シャッターボタンを**半分押した状態**にします。

焦点が合うとフレーミングマークが赤色に変わります。

次の位置で焦点をあわせることができます。	
中央	
中央広域	
右／左	
中央右／左	
左右2ヶ所	

2 シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。

3 目的の被写体にカメラの焦点が合わない場合（またはフレーミングマークが消えてレディライトがオレンジ色で点滅している場合）は、指を離し、シーンの構図をもう一度決めてから手順1に戻ります。

注： フレーミングマークは、カメラの液晶画面がオンになっている場合のみ表示されます。
フレーミングマークは遠景モードでは表示されません。

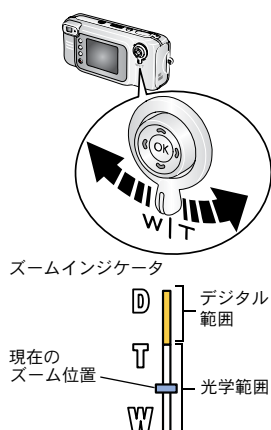
撮影した画像または動画のクイックビュー

画像または動画を撮影すると、カメラの液晶画面にその画像または動画が約5秒間表示されます。何も操作を行わない場合は、そのまま保存されます。画像または動画が表示されている間は、次の操作を行うことができます。

- **再生（動画）：**OKボタンを押すと動画が再生されます 音量を調整するには▲/▼を押します。
- **Share（シェア／共有）：**画像または動画のEメール送信、お気に入りへの追加、またはプリントの指定（タグ付け）を行うにはShareボタンを押します（38ページを参照）。
- **Delete（削除）：**画像または動画と🗑が表示されているときにDeleteボタンを押します。

注： 連写の場合（19 ページを参照）、最後の画像のみが表示されます。Delete ボタンを押すと、連写した一連の画像がすべて消去されます。画像を選択して消去するには、レビューモード（29 ページを参照）で消去します。

光学ズームの使用

光学ズームを使用すると、2.8 倍まで望遠で撮影できます。光学ズームは、動画を録画する前に変更できますが、録画中には変更できません。

1 ビューファインダーまたはカメラの液晶画面を使用して、被写体を捉えます

2 望遠の場合は、ズームレバーを（T）の方向に、広角の場合は（W）の方向に押します。

カメラの液晶画面がオンになっている場合、光学ズームまたはデジタルズームの使用中にズームインジケータが表示されます。

3 通常どおりに画像または動画を撮影します。

デジタルズームの使用

デジタルズームを使用すると、任意の静止画モードで、光学ズームよりさらに拡大することができます。デジタルズーム使用時のズーム倍率は、2.8 ～ 10x（光学ズーム併用時）です。デジタルズームを使用するには、カメラの液晶画面をオンにする必要があります。

1 カメラの液晶画面がオフになっている場合は、OK ボタンを押してオンにします。

2 望遠（T）ボタンを押して、光学ズームの限度まで拡大します。デジタルズームでさらに拡大するには、ボタンを離してからもう一度押します。

カメラの液晶画面にズームされた画像とズームインジケータが表示されます。

重要： デジタルズームを使用すると、プリントしたときの画質が低下する場合があります。L サイズ程度のプリントで適切な画質を得られる限度に達すると、ズームインジケータ上の青色のスライダが一時停止し、次に赤色に変わります。

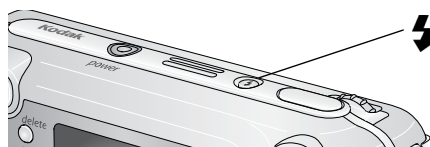
3 通常どおりに画像を撮影します。

注： デジタルズームは動画の録画には使用できません。

フラッシュの使用

夜間、室内、または屋外の暗い場所で撮影する場合は、フラッシュを使います。

	フラッシュの範囲
広角	0.6 〜 3.0 m
望遠	0.6 〜 1.8 m

フラッシュをオンにする

ボタンを押すと、フラッシュモードの設定メニューが表示されます。
現在有効なフラッシュアイコンが、カメラの液晶画面に表示されます。

フラッシュモード	フラッシュの点灯
オート	フラッシュが必要なライティング条件の場合に自動的に点灯します。
オフ	点灯しません。
強制発光	ライティング条件に関係なく、撮影するたびに必ず点灯します。被写体が暗い場合や「逆光」の場合（太陽が被写体の後ろにある場合）に使用します。光の弱い場所では、カメラをしっかり固定するか、三脚を使用します。
赤目軽減発光	被写体の目がフラッシュに慣れるように一度点灯し、撮影時にもう一度点灯します（赤目軽減が不要な場合は、フラッシュが一度しか点灯しないことがあります）。

各モードでのフラッシュの設定

撮影モード	デフォルトの設定	使用可能な設定
オート	オート *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
ポートレート	オート *	
マクロ	オフ	
SCN シーンモード		
夜景	オフ	
夜景ポートレート	赤目軽減発光	
スポーツ	オート	
遠景	オフ	
スノー	オート	
ビーチ	オート	
パーティー	赤目軽減発光	
セルフポートレート	赤目軽減発光	
マナー／美術館	オフ	オフ
花火	オフ	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
逆光	強制発光	
フラワー	オフ	オート、オフ、強制発光
チャイルド	赤目軽減発光	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
動画	オフ	オフ
連写	オフ	
LT 長時間露出	オフ	オフ、強制発光

注： *これらのモードで赤目軽減発光に変更した場合は、設定を変更するまで赤目軽減発光のままです。その他すべてのフラッシュの設定は、モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにしたときにデフォルト設定に戻ります。

撮影設定の変更

撮影するときの設定を変更することができます。

1. Menu ボタンを押します （モードによっては使用できない設定もあります）。
2. ▲/▼ を押して変更する設定をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
3. 設定値を選択して OK ボタンを押します。
4. 終了するには Menu ボタンを押します。

設定	アイコン	設定値／内容（モードによっては使用できない設定もあります）
セルフタイマー 10 秒後に画像または動画が撮影されます。		**[オン]** または **[オフ]** 詳しくは、26 ページを参照してください。 連写モードでは使用できません。
露出補正 カメラに取り込む光の量を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		画像が明るすぎる場合はこの値を減らします。画像が暗すぎる場合はこの値を増やします。 **注：** カメラの液晶画面がオンになっている場合は、▼を押してから ◀/▶ を押して、露出補正を調整することもできます。もう一度 ▼を押します。 **長時間露出を設定した場合、露出補正はゼロに戻ります。**

設定	アイコン	設定値／内容（モードによっては使用できない設定もあります）
連写 間隔の短い連続した画像を 4 枚（1 秒間に約 2.4 フレーム）まで撮影することができます。 **この設定は、動画モードに変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**［オン］**または**［オフ］** **1** シャッターボタンを**半分押した状態**で、連写するすべての画像のオートフォーカス、露出、ホワイトバランス、および縦横の設定を行います。 **2** シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 **シャッターボタンを離すか、6 枚の画像が撮影されるか、保管場所がいっぱいになると撮影が停止します。** 連写モードでは、フラッシュ、セルフタイマー、および長時間露出は使用できません。 動画モードでは使用できません。
画質 画像の解像度を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**最高画質** ☆☆☆ **—** 500 万画素。50 × 76 cm までのプリントに適しています。 **最高画質（3:2）**☆☆☆ **—** 440 万画素。トリミングなしの L サイズ程度のプリントに適しています。50 × 76 cm までのプリントにも適していますが、ある程度トリミングされる可能性があります。 **高画質** ☆☆ **—** 310 万画素。20 × 25 cm までのプリントに適しています。 **標準画質** ☆ **—** 170 万画素。E メール、インターネット、または画面での表示に適しています。
動画画質 動画の解像度を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**最高画質（640 × 480）**☆☆☆ **—** 動画は 640 × 480 ピクセルの大きさで表示されます。 **標準画質（320 × 240）**☆☆ **—** 動画は 320 × 240 ピクセルの大きさで表示されます。

設定	アイコン	設定値／内容（モードによっては使用できない設定もあります）
ホワイトバランス ライティング条件を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**オート（デフォルト）—** ホワイトバランスを自動的に補正します。一般的な撮影に適しています。 **昼光 —** 自然光の画像を撮影します。 **白熱灯 —** 屋内の電球のオレンジ色の光を補正します。屋内の白熱灯またはハロゲンライトの下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。 **蛍光灯 —** 蛍光灯の緑色の光を補正します。屋内の蛍光灯の下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。 動画およびシーンモードでは使用できません（例外－遠景モードでは使用できます）。
ISO スピード 光に対するカメラの感度を制御します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**	ISO	**［オート］（デフォルト）、［80］［100］、［200］、［400］、［800］（標準画質）** * 明るいシーンでは低い ISO の設定を選択し、暗いシーンでは高い ISO の設定を使用します。 *ISO 800 では、画質は強制的に標準画質に設定されます。 **注：** カメラのモードをポートレート、マクロ、SCN（シーン）モードに設定した場合や、長時間露出の間は、ISO はオートに戻ります。 動画および SCN（シーン）モードでは使用できません。

設定	アイコン	設定値／内容（モードによっては使用できない設定もあります）
カラーモード 色調を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**カラー（デフォルト）—** カラーの画像を撮影します。 **白黒 —** 白黒の画像を撮影します。 **セピア —** 赤みがかった茶色のアンティークな雰囲気の画像を撮影します。 **注：** EasyShare ソフトウェアを使用して、カラーの画像を白黒やセピアに変更することもできます。 動画モードでは使用できません。
測光方式 シーンの特定の領域で光のレベルを測定します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**マルチ測光（デフォルト）—** 画像全体のライティング条件を測定し、画像に最適な露出に設定します。一般的な撮影に適しています。 **中央重点測光 —** ビューファインダーの中央に配置された被写体のライティング条件を測定します。逆光を受けている被写体に適しています。 **スポット測光 —** 中央重点測光に似ていますが、ビューファインダーの中央に配置された被写体の小さな領域を中心として測定される点が異なります 画像内の特定の領域の露出を正確に設定する必要がある場合に適しています。 動画およびシーンモードでは使用できません（例外－遠景モードでは使用できます）。

設定	アイコン	設定値／内容（モードによっては使用できない設定もあります）
オートフォーカス 大きな領域または密集した領域に焦点を合わせます。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**	[ ]	**マルチ AF（デフォルト）—** 3 つのゾーンを測定して中間的な焦点を設定します。一般的な撮影に適しています。 **センター AF —** 撮影領域の中央を測定して焦点を設定します。画像内の特定の領域に正確に焦点を合わせる必要がある場合に適しています。 **注：** 遠景モードを使用する場合に高品質の画像を撮影するには、カメラをマルチ AF に設定します。 動画およびシーンモードでは使用できません。
長時間露出 シャッターを開いたましておく時間を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**	LT	**なし、1.0、2.0、4.0、8.0、16.0 秒** 光の弱い状態では、シャッターを開いたままにしておく時間を設定します。三脚を使用するか、平らな場所で撮影します。 **注：** 露出補正がゼロに設定され、ISO がオートに設定されます。 連写、動画、およびシーンモードでは使用できません（例外－夜景モードでは使用できます）。
画像保管場所 画像と動画の保管場所を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**オート（デフォルト）—** カメラにカードが装着されている場合はカードを使用します。カードが装着されていない場合は内蔵メモリーを使用します。 **内蔵メモリー —** カードが挿入されている場合でも常に内蔵メモリーを使用します。

設定	アイコン	設定値／内容（モードによっては使用できない設定もあります）
アルバム設定 アルバムの名前を選択します。		**［オン］**または**［オフ］** 画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択します。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます（27 ページを参照）。
動画撮影時間 動画の撮影時間を選択します。		**連続（デフォルト）**— カードまたは内蔵メモリーに余裕がある間、あるいはシャッターボタンを押している間撮影されます。 **5 秒**、**15 秒**、または **30 秒**を選択します。
設定メニュー その他の設定を選択します。		「カメラのカスタマイズ」（24 ページ）を参照してください。

カメラのカスタマイズ

［設定］を使用してカメラの設定をカスタマイズします。

1 任意のモードで Menu ボタンを押します。
2 ▲/▼ を押して設定 をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
3 ▲/▼ を押して変更する設定をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
4 設定値を選択して OK ボタンを押します。
5 終了するには Menu ボタンを押します。

設定	アイコン	設定値／内容
前のメニューに戻ります。		
ライブビュー 液晶画面をオンまたはオフのデフォルトに設定します。 OK ボタンを押して、手動で画面をオンまたはオフにします（13 ページを参照）。		**オン（デフォルト）**— カメラの電源がオンになっている間、常に液晶画面がオンになります。 **オフ** — 液晶画面がオフになります。
サウンドテーマ 電源を入れたとき、シャッターを離したとき、セルフタイマーを設定したとき、および警告を通知するときのカメラ操作音として設定するテーマを選択します。		**シャッター音のみ** **標準（デフォルト）** およびいくつかのミュージックテーマと サウンドテーマ
音量 すべてのサウンドをオフにするか、音量レベルを選択します。		**オフ** **低（デフォルト）** **中** **高**

設定	アイコン	設定値／内容
電源自動オフ カメラをスリープモードにするときに選択します。		10分（デフォルト） **5分**、**3分**、または**1**分
日付／時刻の設定		6ページを参照してください。
ビデオ出力 カメラ、テレビなどの外部の機器に接続できるように、地域の設定を選択します。		**NTSC（デフォルト）**— 北米と日本で使用される最も一般的な形式です。 **PAL** — ヨーロッパと中国で使用されます。
縦横補正 上下が正しく表示されるように画像の向きを設定します。		**オン（デフォルト）** **オフ**
日付写し込み 画像に日付を表示します。		日付写し込みのオン／オフや日付の表示形式を選択します（デフォルトは［オフ］です）。
動画の日付表示 動画の再生中に日付／時刻を表示します。	000	日付／時刻のオン／オフや日付の表示形式を選択します（デフォルトは［オフ］です）。
言語	ABC	言語を選択します。
フォーマット **注意：** **フォーマットを行うと、保護されているものを含むすべての画像と動画が消去されます。フォーマット中にカードを取り出すと、カードが破損する場合があります。**		**メモリーカード** — カードの内容をすべて消去し、カードをフォーマットします。 **やめる** — 変更せずに終了します。 **内蔵メモリー** — 内蔵メモリーをフォーマットして、Eメールアドレス、アルバム名、お気に入りを含む内容をすべて消去します。
カメラ情報		カメラの情報を表示します。

セルフタイマーを使った撮影

セルフタイマーを使うと、シャッターボタンを押してから10秒後に画像または動画が撮影されます。

1 平らな場所または三脚の上にカメラを置きます。

2 任意の静止画モードでMenuボタンを押します。

3 セルフタイマー をハイライト表示してOKボタンを押します。

4 ▲ を押して［オン］をハイライト表示し、OKボタンを押します。

5 シーンの構図を決めます。シャッターボタンを**半分押した状態で**露出と焦点をあわせます。その後で**完全に押し下げ**ます。自分がシーンに入るように移動します。

カメラ前部のセルフタイマーライトが8秒間ゆっくりと点滅し、さらに2秒間すばやく点滅してから撮影されます。

レディライトが10秒間点滅して、撮影中に消えます。

撮影が終わるかまたはモードを変更すると、セルフタイマーがオフになります。

セルフタイマーを使った動画の撮影

1 平らな場所または三脚の上にカメラを置きます。

2 ジョグダイヤルを回し、動画 をハイライト表示してジョグダイヤルを押します。次に、Menuボタンを押します

3 セルフタイマー をハイライト表示してOKボタンを押します。

4 ▲ を押して［オン］をハイライト表示し、OKボタンを押します。

5 シーンの構図を決めて、シャッターボタンを完全に押し下げます。自分がシーンに入るように移動します。

注： デフォルトの動画撮影時間は［連続］です。録画は、シャッターボタンを押すか、保管場所がいっぱいになると停止します。動画撮影時間を変更する方法については「動画撮影時間」（23ページ）を参照してください。セルフタイマーのカメラ操作音をオフにする方法については、24ページを参照してください。

撮影が終わるかまたはモードを変更すると、セルフタイマーがオフになります。

アルバム名の事前設定

アルバム設定（静止画または動画）機能を使うと、画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択することができます。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます。

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェア（V 3.0 以上）を使用して、コンピュータ上でアルバム名を作成します。次にカメラをコンピュータに接続したときに、最大 32 個のアルバム名を、お使いのカメラのアルバム名のリストにコピーできます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの操作

1 任意のモードで Menu ボタンを押します。

2 ▲/▼ を押してアルバム設定 をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼ を押してアルバム名をハイライト表示し、OK ボタンを押します。複数のアルバム名を選択するには、この操作を繰り返します。

   選択したアルバムにはチェックマークが付きます。

4 アルバムの選択を解除するには、アルバム名をハイライト表示して OK ボタンを押します。すべてのアルバムの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。

5 ［終了］をハイライト表示して OK ボタンを押します。

   選択した内容が保存されます。カメラの液晶画面をオンにしている場合は、アルバムの選択状況が画面に表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、複数のアルバムが選択されていることを示します。

6 終了するには Menu ボタンを押します。

3. コンピュータへの転送

指定した（タグ付けされた）画像や動画をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShare ソフトウェアによって画像や動画が開かれ、適切なアルバムに分類されます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

3 画像と動画のレビュー

Review ボタンを押すと、撮影した画像や動画を表示したり操作することができます。電池を節約するためには、5V AC アダプター（別売）を購入するか、お使いのカメラを別売の Kodak EasyShare カメラドックまたはプリンタードックに取り付けてください （www.kodak.co.jp を参照）。

1 つの画像や動画の表示

1 Review ボタンを押します。

2 画像または動画を前後にスクロールするには ◀/▶ を押します（スクロール速度を速くするには ◀/▶ を押したままにします）。

3 終了するには Review ボタンを押します。

注： 最高画質（3:2）で撮影された画像は、3:2 の縦横比で表示され、液晶画面の上部に黒いバーが表示されます。

レンズを出さずに画像や動画を表示する

1 ジョグダイヤルを回してお気に入り の位置にし、ジョグダイヤルを押します。

レンズが前に出ていないと、撮影することはできません。

2 Review ボタンを押します。

3 1 つの画像や動画の表示の手順 2 を参照してください。

複数の画像や動画の表示

1 Review ボタンを押します。

2 ▼ を押します。

注： Menu ボタンを押してインデックス をハイライト表示し、OK ボタンを押すこともできます。

インデックス表示では、画像と動画のサムネールが最大 9 枚表示されます。

- 選択されているサムネール画像には枠が表示されます。
- 選択枠を移動するには、◀/▶ ▲/▼ を押します。
- 表示画面の上端または下端で ▲/▼ を押すか、左上または右下で ◀/▶ を押すと、前後の画面に切り替わります。

■ 選択した画像だけを表示するにはOK ボタンを押します。

3 終了するにはReview ボタンを押します。

動画の再生

1 Review ボタンを押します。

2 ◀/▶ を押して動画を選択します（インデックス表示では、動画をハイライト表示してOK ボタンを押します）。

3 OK ボタンを押して動画を再生または一時停止します。

■ 音量を調整するには▲/▼を押します。

■ 動画を巻き戻すには、再生中に◀を押します。

■ 動画を再び再生するにはOK ボタンを押します。

■ 前後の画像または動画を表示するには◀/▶ を押します。

画像と動画の消去

1 Review ボタンを押します。

2 ◀/▶ を押して画像または動画を選択し（複数表示されている場合はハイライト表示し）、Delete ボタンを押します。

3 ▲/▼を押して次のオプションをハイライト表示し、OK ボタンを押します。

［この画像］または［この動画］— 表示されている画像または動画を消去します。

［終了］—［消去］画面を終了します。

［全て］— 現在の保管場所からすべての画像と動画を消去します。

さらに画像または動画を消去する場合は、手順 2 から繰り返します。

注： 保護された画像と動画を消去することはできません。消去する前に保護を解除してください（30 ページを参照）。

レビュー設定の変更

レビューモードでMenuボタンを押すと、レビュー設定のメニューが表示されます。

	アルバム（31ページ）		画像の保護（30ページ）
	画像保管場所（22ページ）		スライドショー（32ページ）
	コピー（33ページ）		インデックス（28ページ）
	画像情報（34ページ）		設定メニュー（23ページ）

画像の拡大表示

1 Reviewボタンを押して画像を選択します。

2 拡大表示する（最大8倍）にはズームレバーを望遠（T）方向、縮小するには広角（W）方向に繰り返し押します。

■ 画像の各部分を表示するには▲/▼または◀/▶を押します。

■ 元のサイズ（1倍）に戻すには、OKボタンを押します。

3 レビューモードを終了するにはReviewボタンを押します。

画像と動画の保護

1 Reviewボタンを押し、画像または動画を選択します。

2 Menuボタンを押します

3 ▲/▼を押して画像の保護をハイライト表示し、OKボタンを押します。

画像または動画が保護され、消去できなくなります。保護された画像または動画の横に画像の保護アイコンが表示されます。

4 保護を解除するにはOKボタンをもう一度押します。

5 終了するにはMenuボタンを押します。

注意：

内蔵メモリーまたはSD/MMCカードをフォーマットすると、保護されたものを含むすべての画像と動画が消去されます。内蔵メモリーをフォーマットすると、Eメールアドレス、アルバム名、およびお気に入りも消去されます。それらを復元する方法については、Kodak EasyShareソフトウェアのヘルプを参照してください。

画像および動画のアルバムの指定

レビューモードでアルバム機能を使用すると、カメラ内の画像や動画のアルバム名を指定（タグ付け）することができます。

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェア（V 3.0 以上）を使用して、コンピュータ上でアルバム名を作成し、最大 32 個のアルバム名をカメラの内蔵メモリーにコピーできます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの操作

1 Review ボタンを押し、画像または動画を選択します。

2 Menu ボタンを押します

3 ▲/▼ を押してアルバム をハイライト表示し、OKボタンを押します。

4 ▲/▼ を押してアルバムフォルダをハイライト表示し、OK ボタンを押します。

同じアルバムに他の画像を追加するには、◀/▶ を押して画像をスクロールします。追加する画像が表示されたら OK ボタンを押します。

複数のアルバムに画像を追加するには、各アルバムについて手順 4 を繰り返します。

画像の横にアルバム名が表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、複数のアルバムに画像が追加されていることを示します。

アルバムの選択を解除するには、アルバム名をハイライト表示して OK ボタンを押します。すべてのアルバムの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。

3. コンピュータへの転送

指定した（タグ付けされた）画像や動画をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShare ソフトウェアによって画像や動画が開かれ、適切なアルバムフォルダに分類されます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

スライドショーの実行

スライドショーを使用すると、画像や動画をカメラの液晶画面に表示できます。テレビまたは他の外部装置でスライドショーを実行する方法については、33 ページを参照してください。
電池を節約するために、Kodak 5V ACアダプター（別売）を使用してください （www.kodak.co.jp を参照）。

スライドショーの開始

1 Review ボタンを押し、Menu ボタンを押します。
2 ▲/▼ を押してスライドショー をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
3 ▲/▼ を押して［開始］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

各画像と動画は、撮影した順序で 1 回ずつ表示されます。

スライドショーを取り消すには OK ボタンを押します。

スライドショーの表示間隔の変更

各画像の表示間隔のデフォルト設定は 5 秒間です。表示間隔は 60 秒まで増やすことができます。

1 ［スライドショー］メニューで ▲/▼ を押して［間隔］を
ハイライト表示し、OK ボタンを押します。
2 表示間隔を選択します。

秒数をすばやくスクロールするには ▲/▼ を押したままにします。

3 OK ボタンを押します。

間隔の設定は、設定を変更するまで有効です。

スライドショーの繰り返し再生

［繰り返し］をオンにすると、スライドショーが何度も繰り返されます。

1 ［スライドショー］メニューで ▲/▼ を押して［繰り返し］を
ハイライト表示し、OK ボタンを押します。
2 ▲/▼ を押して［オン］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

スライドショーは、OK ボタンを押すか、電池が切れるまで繰り返されます。

画像と動画のテレビでの再生

テレビ、コンピュータのモニター、またはビデオ入力のついた任意の機器に画像と動画を表示することができます（テレビ画面上では、コンピュータのモニター上やプリント時よりも画質が低下する場合があります）。

注：［ビデオ出力］の設定（NTSC または PAL）が正しいことを確認します（25 ページ）。スライドショーの実行中にケーブルを抜き差しすると、スライドショーが停止します。

1 付属のオーディオ／ビデオケーブルを、カメラのビデオ出力ポートからテレビのビデオ入力ポート（黄色）とオーディオ入力ポート（白）に接続します。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

2 画像と動画をテレビに表示します。

画像と動画のコピー

画像や動画をカードから内蔵メモリーにコピーしたり、内蔵メモリーからカードにコピーすることができます。

コピーする前の確認事項

- カードがカメラに装着されていることを確認します。
- カメラの画像保管場所が、コピー元の場所に設定されていることを確認します（「画像保管場所」、22 ページを参照）。

画像または動画をコピーする方法

1 Review ボタンを押し、Menu ボタンを押します。

2 ▲/▼ を押してコピー ▶▶ をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼ を押して次のオプションをハイライト表示します。

［この画像］または［この動画］— 現在の画像または動画をコピーします。

［終了］— Review メニューに戻ります。

［全て］— すべての画像と動画を選択した保管場所から他の場所にコピーします。

4 OK ボタンを押します。

注：

- 画像と動画は移動ではなくコピーされます。コピーした後に画像と動画を元の場所から消去するには、それらを消去します（29 ページを参照）。
- プリント、E メール、またはお気に入り用に指定したタグや、保護の設定はコピーされません。画像または動画に保護の設定を適用する方法については、30 ページを参照してください。

画像情報および動画情報の表示

1 Review ボタンを押し、Menu ボタンを押します。

2 ▲/▼を押して［画像情報］または［動画情報］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 前後の画像または動画の情報を表示するには◀/▶を押します。

4 終了するには Menu ボタンを押します。

4 ソフトウェアのインストール

コンピュータのシステム必要条件

Windows OS

- Windows 98、98SE、ME、2000 SP1、または XP OS
- Internet Explorer 5.01 以上
- 233 MHz 以上のプロセサー
- 64 MB 以上の RAM（Windows XP OS の場合は 128 MB 以上の RAM）
- 200 MB 以上のハードディスクの空き容量
- CD-ROM ドライブ
- USB ポート
- カラーモニター、800 × 600 ピクセル（16 ビットまたは 24 ビットを推奨）

Macintosh

- Power Mac G3、G4、G5、G4 Cube、iMac、PowerBook G3、G4、または iBook コンピュータ
- Mac OS X バージョン 10.2.3、10.3
- Safari 1.0 以上
- 128 MB 以上の RAM
- 200 MB 以上のハードディスクの空き容量
- CD-ROM ドライブ
- USB ポート
- カラーモニター、1024 × 768 ピクセル（数千色または数百万色を推奨）

注： Mac OS 8.6 および 9.x では、［お気に入り］を含む Share ボタンはサポートされません。
すべての機能を利用するには、Mac OS X バージョン 10.2.3.x または 10.3 を使用することをお勧めします。
Mac OS 8.6 および 9.x 用の EasyShare ソフトウェアをダウンロードするには、www.kodak.co.jp を参照してください。

ソフトウェアのインストール

注意：

Kodak EasyShare ソフトウェアは、カメラまたはドック（別売）をコンピュータに接続する前にインストールしてください。先にインストールしないと、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

1 コンピュータで開いているすべてのアプリケーション（ウイルス対策ソフトウェアを含む）を閉じます。

2 Kodak EasyShare ソフトウェア CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

3 ソフトウェアをインストールします。

Windows OS — インストールウィンドウが表示されない場合は、［スタート］ボタンメニューの［ファイル名を指定して実行］をクリックし、「**d:¥setup.exe**」と入力します。**d** は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。

Mac OS X — デスクトップの CD アイコンをダブルクリックし、インストールアイコンをクリックします。

4 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

Windows OS — すべてのアプリケーションを自動的にインストールする場合は、［標準］を選択します。インストールするアプリケーションを選択する場合は、［カスタム］を選択します。

Mac OS 8.6 または 9.X — 最も一般的に使用されるアプリケーションを自動的にインストールする場合は、［簡易］を選択します。

Mac OS X — 画面の指示に従います。

注： ユーザー登録画面が表示されたら、登録を行ってください。この画面でカメラのユーザー登録もできます。ユーザー登録すると、ソフトウェアのアップグレード情報等が得られます。ユーザー登録を行うには、インターネットに接続されている必要があります。後で登録する場合は www.kodak.co.jp/go/register にアクセスしてください。

5 コンピュータを再起動します。ウィルス対策ソフトウェアを再び有効にします（詳しくは、ウイルス対策ソフトウェアのマニュアルを参照してください）。

Kodak EasyShare ソフトウェア CD に収録されているソフトウェアアプリケーションについての情報を参照するには、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

5 画像と動画の共有

画像と動画に「タグを付ける」には
Share ボタンを押します。
コンピュータに転送すると、
次の方法で共有することができます。

		画像	動画
	プリント（39 ページ）	✔	
	E メール（40 ページ）	✔	✔
	お気に入り（41 ページ） コンピュータ上での整理と カメラでの共有に便利です	✔	✔

注： タグは削除されるまでそのままです。タグ付けされた画像や動画をコピーしても、タグ自体は**コピーされません**。連写では、クイックビュー時に最後の画像にのみタグが付けられます。

プリントする画像のタグ付け

1 Share ボタンを押します。◀/▶ を押して画像を選択します。

2 ▲/▼ を押してプリント をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼ を押してプリント数（0 ～ 99）を選択します。0 を選択すると、その画像のタグは削除されます。

画面にプリントアイコン が表示されます。デフォルトは 1 枚です。

4 **オプション：**プリント数を他の画像に適用できます。◀/▶ を押して画像を選択します。プリント数をそのままにするか、▲/▼ を押して変更します。

5 OK ボタンを押します。Share ボタンを押して終了します。

* 保管場所のすべての画像にタグを付けるには、▲ を押して［全てプリント］をハイライト表示し、OK ボタンを押してから、前述のようにプリント数を指定します。［全てプリント］はクイックビューでは使用できません。

保管場所内のすべての画像からプリントタグを削除するには、▲ を押して［全て取り消し］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。［全て取り消し］はクイックビューでは使用できません。

タグ付けされた画像のプリント

タグ付けされた画像をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShare ソフトウェアのプリント画面が表示されます。プリントについては、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

コンピュータ、プリンタードック、カードからのプリントについては、45 ページを参照してください。

注： L サイズなどの写真サイズのプリントで最高の画質を得るためには、カメラを［最高画質（3:2)］に設定します（19 ページを参照）。

E メールで送信する画像と動画のタグ付け

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、コンピュータ上で E メール用のアドレス帳を作成します。最大 32 個の E メールアドレスをカメラの内蔵メモリにコピーします。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

2. カメラでの画像や動画のタグ付け

1 Share ボタンを押します。◀/▶ を押して画像や動画を選択します。

2 ▲/▼ を押して E メール をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼ を押して E メールアドレスをハイライト表示し、OK ボタンを押します。

   同じアドレスを使用して他の画像や動画にタグを付けるには、◀/▶ を押してスクロールします。追加する画像／動画が表示されたら OK ボタンを押します。

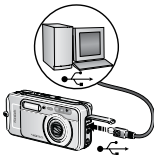
   画像や動画を複数のアドレスに送信するには、アドレスごとに手順 3 を繰り返します。

   選択したアルバムにはチェックマークが付きます。

4 選択を解除するには、チェックマークの付いたアドレスをハイライト表示して OK ボタンを押します。すべての E メールアドレスの選択を解除するには、［指定の取り消し］をハイライト表示します。

5 ▲/▼ を押して［終了］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

   画面に E メールアイコン が表示されます。

6 Share ボタンを押してメニューを終了します。

3. 転送および E メール

タグ付けされた画像や動画をコンピュータに転送すると、E メール画面が表示され、指定したアドレスに画像や動画を送信することができます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

お気に入りの画像のタグ付け

お気に入りの画像をカメラの内蔵メモリー内のお気に入り♥セクションに保存すると、友人や家族と共有することができます。お気に入りは、画像をコンピュータに転送した後にカメラに読み込まれます。お気に入りは約 100 万画素で、L サイズ程度のプリントに適しています。

お気に入りの画像は次の 4 つの手順で簡単に共有できます。

1. 画像を撮影します。 	
2. お気に入りとして画像にタグを付けます。 	**1** Share ボタンを押します。◀/▶ を押して画像を選択します。 **2** ▲/▼ を押してお気に入り♥をハイライト表示し、OK ボタンを押します。 **画面にお気に入りアイコン♥が表示されます。タグを削除するにはもう一度 OK ボタンを押します。** 終了するには Share ボタンを押します。
3. 画像をコンピュータに転送します。 	**1** お使いのカメラに付属の EasyShare ソフトウェアを読み込んで使用してください（36 ページを参照）。 **2** USB ケーブル（44 ページを参照）または EasyShare ドックを使用して、カメラをコンピュータに接続します。 **初めて画像を転送する場合は、ソフトウェアウィザードが起動されます。ウィザードの指示に従い、よく確認して選択します。この操作によって、画像がコンピュータに転送されます。お気に入りは、カメラの内蔵メモリーのお気に入りセクションに読み込まれます。**

4. カメラでお気に入りを表示します。 	**1** ジョグダイヤルを回してお気に入り の位置にします。ジョグダイヤルを押します。 **2** ◀/▶ を押してお気に入りをスクロールします。 お気に入りを終了するには、ジョグダイヤルを回し、他のモードの位置にして押します。 カードで、またはお気に入り以外の内蔵メモリーで画像や動画を表示するには、Review ボタンを押します（28 ページを参照）。

注： カメラに保管できるお気に入りの数には制限があります。Kodak EasyShare ソフトウェアの［カメラのお気に入り］を使用して、カメラのお気に入り セクションのサイズをカスタマイズします。詳しくは、ソフトウェアの [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

お気に入りのレビュー設定の変更

お気に入りモードで Menu ボタンを押すと、レビュー設定のメニューが表示されます。

	スライドショー（32 ページ）		インデックス（28 ページ）
	画像情報（34 ページ）		お気に入りの消去（42 ページ）
	設定メニュー（23 ページ）		

注： お気に入りは、3:2 形式にトリミングされます。トリミングしないようにするには、［最高画質（3:2)］に設定して撮影します（19 ページを参照）。

カメラからのすべてのお気に入りの消去

1 お気に入りモードで Menu ボタンを押します。

2 をハイライト表示して OK ボタンを押します。

内蔵メモリーのお気に入りセクションに保管されているすべての画像が消去されます。お気に入りは、次回画像をコンピュータに転送したときにカメラに復元されます。

3 Menu ボタンを押してメニューを終了します。

お気に入りをカメラに転送しないようにする

1 Kodak EasyShare ソフトウェアを起動します。［お気に入り］タブをクリックします。

2 カメラの内蔵メモリーのお気に入りセクションに保存する必要がなくなった画像を削除します。

3 USB ケーブル（44 ページを参照）または EasyShare ドックを使用して、カメラをコンピュータに接続します。

   EasyShare ソフトウェアによって、カメラ上のお気に入りが消去されます。

お気に入りのプリントと E メールでの送信

カメラに保管されているフルサイズの画像のタグ付けと同じ方法で、お気に入りをプリントおよび E メール用にタグ付けすることができます。

1 お気に入りモードで画像を選択して、Share ボタンを押します。

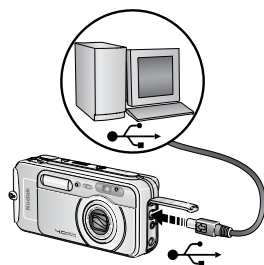
2 プリント または E メール をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

注： お気に入りは、L サイズ程度の大きさのプリントに適しています。

6 画像の転送およびプリント

注意：

Kodak EasyShare ソフトウェアは、カメラまたはドック（別売）をコンピュータに接続する前にインストールしてください。先にインストールしないと、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

USB ケーブルを使用した画像および動画の転送

1 カメラの電源をオフにします。

2 USB ケーブルの というラベルの付いた端をコンピュータの USB ポートに差し込みます。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

3 USB ケーブルのもう一方の端をカメラの USB ポートに差し込みます。

4 カメラの電源をオンにします。

Kodak EasyShare ソフトウェアがコンピュータ上で起動されます。ソフトウェアの指示に従って、転送プロセスを実行します。

転送中は緑色の Ready ライトが点滅します。

転送に使用可能なその他の製品

画像および動画の転送には、Kodak EasyShare プリンタードックなどの Kodak 製品も使用できます。

詳しくは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

コンピュータに保存されている画像のプリント

コンピュータに保存されている画像をプリントする場合は、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

プリントのオンラインオーダー

Kodak オンラインフォトサービス（www.kodak.co.jp を参照）を利用すると次のような処理を簡単に行うことができます。

- 画像のアップロード
- 画像の編集、拡張、枠の追加
- 画像の保管、家族や友人との共有
- 画像のプリントオーダー

SD/MMC カード（別売）に保存されている画像のプリント

- SD/MMC スロット付きのプリンターにカードを挿入して、タグ付けされた画像を自動的にプリントすることもできます。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。
- 最寄りの写真店にカードを持って行き、プリントをオーダーすることもできます。

コンピュータを使用せずにプリントする

カメラを Kodak EasyShare プリンタードックに装着すれば、コンピュータを使用せずにプリントできます。プリンタードックやその他のアクセサリーは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

7 トラブルシューティング（こんなときは？）

故障かな？と思った場合は、まずここをお読みください。Kodak EasyShare ソフトウェア CD 内の ReadMe ファイルにも技術情報が記載されています。最新のトラブルシューティング情報については、www.kodak.co.jp を参照してください。

カメラに関して

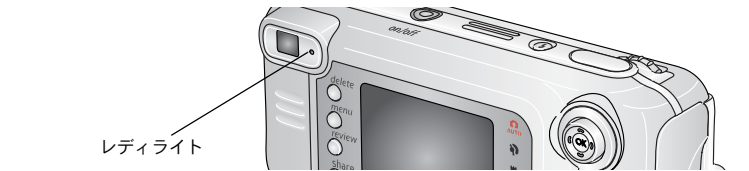
<table>
<tr><th>現象</th><th>解決方法
（以下のいずれかの方法を試してください）</th></tr>
<tr><td>カメラの電源がオンにならない</td><td rowspan="3">■ 電池を取り外して装着し直してください（3 ページ）。
■ 電池を充電してください（3 ページ）。
■ カメラを Kodak EasyShare カメラドックまたはプリンタードック（別売）に取り付けて、もう一度やり直してみてください。
■ カメラを Kodak 5V AC アダプター（別売）に接続して、もう一度やり直してみてください。</td></tr>
<tr><td>カメラの電源がオフにならず、レンズが引っ込まない</td></tr>
<tr><td>カメラのボタンとコントロールが機能しない</td></tr>
<tr><td>カメラの液晶画面がオンにならない</td><td>■ 任意の撮影モードで OK ボタンを押してください。
■ カメラの電源をオフにしてからオンに戻してください。
カメラの液晶画面のオンとオフを切り替える方法については、「カメラのカスタマイズ」、24 ページを参照してください。</td></tr>
<tr><td>レビューモードで、画像の代わりに青い画面または黒い画面が表示される</td><td>■ 対象画像またはすべての画像をコンピュータに転送してください（44 ページ）。転送後に内蔵メモリーまたはカードをフォーマットしてください（25 ページ）。</td></tr>
</table>

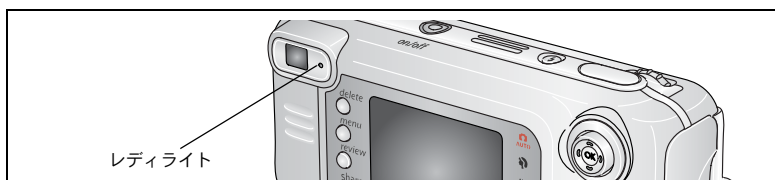
現象	解決方法 （以下のいずれかの方法を試してください）
画像を撮影しても残り枚数が減らない	■ そのまま撮影を続けてください。カメラは正常に動作しています。 （カメラでは、各画像の撮影後に、画質と内容に基づいた残りの撮影可能枚数が概算されます。）
画像を撮影できない	■ カメラの電源をオフにしてからオンに戻してください。 ■ シャッターボタンを完全に押し下げてください（10 ページ）。 ■ 電池が切れています。電池を充電するか、新しい電池を挿入してください（2 ページ）。 ■ レディライトが緑色になってから、次の画像を撮影してください。 ■ 画像をコンピュータに転送する（44 ページ）、カメラから画像を消去する（29 ページ）、画像保管場所を切り替える（22 ページ）、使用可能なメモリーのあるカードを挿入する（8 ページ）のいずれかを実行してください。
画像の向きが正しくない	■ 縦横補正を設定してください（25 ページ）。
フラッシュが点灯しない	■ フラッシュの設定を確認して、必要な場合は変更してください（16 ページ）。
電池の寿命がすぐに切れる	■ 電池をフル充電するか、新しい電池を挿入してください（2 ページ）。
カメラにエラーコードが表示される	■ シャッターボタンを完全に押し下げてください（10 ページ）。 ■ 電池が切れています。電池をフル充電してください（2 ページ）。 ■ レディライトが緑色になってから、次の画像を撮影してください。 ■ 画像をコンピュータに転送する（44 ページ）、カメラから画像を消去する（29 ページ）、画像保管場所を切り替える（22 ページ）、使用可能なメモリーのあるカードを挿入する（8 ページ）のいずれかを実行してください。

コンピュータ／接続に関して

現象	解決方法 （以下の 1 つまたは複数の方法を試してください）
コンピュータがカメラと通信しない	■ カメラの電源をオンにします。 ■ 電池を充電するか、新しい電池を挿入してください（2 ページ）。 ■ USB ケーブルがカメラとコンピュータポートにしっかりと接続されていることを確認してください（44 ページ）。 ■ コンピュータの別の USB ポートを使用してみてください。 ■ EasyShare ソフトウェアがインストールされていることを確認してください（36 ページ）。 ■ EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。
スライドショーが外部ビデオ装置で実行されない	■ カメラのビデオ出力設定を調節してください（NTSC または PAL、25 ページ）。 ■ 外部装置の設定が正しいことを確認してください（装置の取扱説明書を参照）。

画質に関して

現象	解決方法 （以下の 1 つまたは複数の方法を試してください）
画像が暗すぎるか、露出が不足している	■ 強制発光（16 ページ）を使用するか、被写体の後ろに光がない位置に移動してください。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください（16 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。レディライトが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 ■ 露出補正の値を増やして（18 ページ）、もう一度やり直してみてください。

現象	**解決方法** **（以下の 1 つまたは複数の方法を試してください）**
画像が明るすぎる	■ フラッシュをオフにしてください（16 ページ）。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください（16 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。レディライトが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 ■ 露出補正の値を減らして（18 ページ）、もう一度やり直してみてください。 ■ ビーチまたはスノーシーンモードになっているかを確認してください（12 ページ）。
画像が鮮明でない	■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。レディライトが緑色に変わったら、シャッターボタンをゆっくりと**完全に押し下げて**撮影します。 ■ レンズを拭いてください（58 ページ）。 ■ 被写体から 100 cm 以上離れている場合は、カメラがマクロモードになっていないことを確認してください。 ■ 安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。

カメラのレディライトの表示状態

レディライト

表示状態	原因
レディライトが緑色で点灯している。	シャッターボタンが半分まで押し下げられています。フォーカスと露出が設定されています。
レディライトが緑色で点滅する。	画像が処理されてカメラに保存されます。
	画像がコンピュータに転送されています。カメラが接続されています。
	カメラのファームウェアのアップグレード中です。
レディライトがオレンジ色で点灯している。	カメラがお気に入りモードになっています。
レディライトがオレンジ色で点滅する。	フラッシュの準備ができていません。そのままお待ちください。ライトの点滅が止まって消えたら、撮影を再開してください。
	自動露出またはオートフォーカスがロックされていません。一度シャッターボタンを離してやり直してください。

表示状態	原因
レディライトが赤で点灯している。	カメラの内蔵メモリーまたはカードがいっぱいです。 画像をコンピュータに転送する（44 ページ）、カメラから画像を消去する（29 ページ）、保管場所を切り替える（22 ページ）、使用可能なメモリーカードを挿入する（8 ページ）のいずれかを実行してください。
	カメラの処理メモリーがいっぱいです。そのままお待ちください。ライトが緑色に変わったら撮影を再開してください。
	カードが読み取り専用です。保管場所を内蔵 メモリーに変更する（22 ページ）か、別のカードを使用してください。
	メモリーカードが低速です。このカードは録画には使用できません。 保管場所を内蔵メモリーに変更してください（22 ページ）。このカードは画像の撮影のみに使用してください。
レディライトが赤色で点滅してカメラの電源がオフになる。	電池が消耗しているか、切れています。電池を充電してください（2 ページ）。

カメラの電源ライトの表示状態

電源ライト／
オン／オフボタン

表示状態	原因
電源ライトが青色で点滅している。	カメラが起動中または終了中です。
電源ライトが青色で点灯している。	カメラの電源がオンになっています。いつでも画像または動画を撮影することができます。
電源ライトが点灯せず、カメラが動作しない。	カメラの電源がオンになっていません。オン／オフボタンを押します。
	電池が切れています。電池を充電してください（2 ページ）。

問題が解決しない場合

www.kodak.co.jp、または第 8 章「サポート情報」を参照してください。

8 サポート情報

役に立つリンク集

カメラに関するヘルプ	www.kodak.co.jp
最新のカメラ用ソフトウェアとファームウェアのダウンロード	www.kodak.co.jp
カメラ、ソフトウェア、アクセサリーなどに関するサポート情報	www.kodak.co.jp
カメラアクセサリーの購入	www.kodak.co.jp
カメラの登録	www.kodak.co.jp/go/register

ソフトウェアヘルプ

Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

電話によるカスタマーサポート

ソフトウェアまたはカメラの操作に関するご質問は、カスタマーサービス担当者にお問い合わせください。

電話をかける前に

カメラ、カメラドック、またはプリンタードックをコンピュータに接続しておいてください。次の情報を用意して、コンピュータのそばから電話をかけてください。

- コンピュータのモデル
- オペレーティングシステム
- プロセッサタイプおよび速度（MHz）
- メモリー容量（MB）
- ハードディスクの空き容量（MB）
- Kodak EasyShare ソフトウェアのバージョン
- カメラのシリアル番号
- 表示されたエラーメッセージ

オーストラリア	1800 147 701	オランダ	020 346 9372
オーストリア	0179 567 357	ニュージーランド	0800 440 786
ベルギー	02 713 14 45	ノルウェー	23 16 21 33
ブラジル	0800 150000	フィリピン	1 800 1 888 9600
カナダ	1 800 465 6325	ポルトガル	021 415 4125
中国	800 820 6027	シンガポール	800 6363 036
デンマーク	3 848 71 30	スペイン	91 749 76 53
アイルランド	01 407 3054	スウェーデン	08 587 704 21
フィンランド	0800 1 17056	スイス	01 838 53 51
フランス	01 55 1740 77	台湾	0800 096 868
ドイツ	069 5007 0035	タイ	001 800 631 0017
ギリシア	00800 441 25605	英国	0870 243 0270
香港	800 901 514	米国	1 800 235 6325
インド	91 22 617 5823	米国以外の地域	585 726 7260
イタリア	02 696 33452	国際有料電話番号	+44 131 458 6714
日本	03 5540 9002	国際有料ファックス番号	+44 131 458 6962
韓国	00798 631 0024		

最新の一覧については次のサイトをご覧ください。
http://www.kodak.com/US/en/digital/contacts/DAIInternationalContacts.shtml

9 付録

カメラの仕様

詳細な仕様については、www.kodak.co.jp を参照してください。

LS753 ズームデジタルカメラの仕様		
CCD		
CCD	1/2.5 インチ CCD、縦横比 4:3	
出力画像サイズ（画質モード）	最高画質☆☆☆ 最高画質（3:2）☆☆☆ 高画質☆☆ 標準画質☆	2560 × 1920（500 万）画素 2560 × 1706（440 万）画素 2048 × 1536（310 万）画素 1496 × 1122（170 万）画素
表示		
カラーの表示	1.8 インチ ハイブリッド LCD 560 × 240（134K）画素	
ビューファインダー	光学実像式ビューファインダー視野率： 80%（広角および望遠の場合）	
プレビュー	フレーム速度：30 fps 視野：100%。連続 AF、AE、AWB	
レンズ		
撮影レンズ	2.8X 光学ズーム、f/3.0 〜 4.9、 36 〜 100 mm（35 mm フィルムカメラに相当）	
フォーカスシステム	オートフォーカス、TTL-AF、マルチ AF または センター AF が選択可能 静止画または動画撮影モードでシャッターボタンを半分押すとロックされる TTL-AF 操作範囲： 60 cm 〜無限遠（広角および望遠標準の場合） 5 〜 100 cm（広角マクロの場合） 30 〜 100 cm（望遠マクロの場合） フォーカスは遠景モードで無限遠に設定されます	
デジタルズーム	1.0 〜 3.6X（0.2X ステップ） 動画撮影ではサポートされていません	

LS753 ズームデジタルカメラの仕様	
アクセサリレンズの溝	なし
レンズカバー	カメラ内蔵
測光	
測光方式	TTL-AE マルチ測光 AE、中央重点測光 AE、スポット測光 AE シャッターボタンを半分押すとロックされる AE（静止画の場合）、連続 AE（動画およびプレビューの場合）
測光範囲	広角：EV 4.2 ～ 15.2（1/2 秒 （f/3.0）～ 1/1400 秒 （f/5.1）） 望遠：EV 5.6 ～ 16.6（1/2 秒 （f/4.9）～ 1/1400 秒 （f/8.5）
露出モード	長時間露出モード：1 ～ 16 秒 露出補正：± 2.0 EV（1/2 EV ステップ）
シャッタースピード	CCD 電子シャッター付機械式シャッター 1/1400 ～ 16 秒
ISO スピード	オート：80 ～ 160 マニュアル設定：80、100、200、400、800 （800 は標準画質のみ）
フラッシュ	
電子フラッシュ	ガイド番号 7.3（ISO 100） オート発光 操作範囲（ISO 140）： 0.6 ～ 3.0 m（広角の場合） 0.6 ～ 1.8 m（望遠の場合）
フラッシュモード	オート発光、強制発光、赤目軽減、オフ

LS753 ズームデジタルカメラの仕様	
撮影	
撮影モード	オート、ポートレート、マクロ、シーン（夜景、夜景ポートレート、スポーツ、遠景、スノー、ビーチ、パーティー、セルフポートレート、マナー／美術館、花火、逆光、フラワー、チャイルド）、動画
ジョグダイヤル	カメラのモードの選択に使用
連写モード	最大画像枚数：4 枚、2.4 fps 最初の撮影でのみ AE、AF、AWB を実行
動画撮影	画像サイズ：QVGA（320 × 240）、VGA（640 × 480）選択可能 フレーム速度：13 fps VGA、20 fps QVGA
画像のファイルフォーマット	静止画：EXIF 2.21（JPEG 圧縮）、ファイル構成 DCF 動画：QuickTime（CODEC MPEG4）
記録媒体	32 MB 内蔵メモリー MMC または SD カード（別売） （SD ロゴは、SD Card Association の商標です）
レビュー	
クイックビュー	あり
動画出力	NTSC または PAL
電源	
Kodak EasyShare リチウム充電式電池（KLIC-5000） 5V AC アダプター（別売）	
コンピュータとの通信	
USB 2.0（PIMA 15740 プロトコル）、USB ケーブル、EasyShare カメラドック、またはプリンタードック経由	
言語	
英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／イタリア語／ポルトガル語／中国語（簡体）／韓国語／日本語	

LS753 ズームデジタルカメラの仕様	
その他の機能	
セルフタイマー	10 秒
サウンドフィードバック	電源オン、シャッター、セルフタイマー、エラー、シャッターのみ、オフからテーマを選択可能
ホワイトバランス	自動、昼光、白熱灯、蛍光灯
電源自動オフ	1、3、5、または 10 分から選択可能 デフォルトは 10 分です。
カラーモード	カラー、白黒、セピア
日付写し込み	なし、YYYY/MM/DD、MM/DD/YYYY、DD/MM/YYYY
三脚マウント	1/4 インチ
サイズ	108 mm × 30 mm × 49 mm（電源オフの場合）
重さ	165 g（電池およびカードを装着していない場合）

ヒント、安全、メンテナンス

- 荒天時などでカメラ内部に水が入った場合は、カメラの電源をオフにし、バッテリーとカードを取り出してください。カメラを再び使用する前に、すべての部品を 24 時間以上乾かしてください。
- レンズまたはカメラの液晶画面の埃や塵を軽く吹いて飛ばします。起毛のない柔らかい布か、化学処理されていないレンズ用ティッシュでそっと拭きます。クリーニング液を使用する場合は、カメラレンズ用のクリーニング液を使用してください。日焼けローションなどの薬品が塗布面につかないように注意してください。
- 不要になった電池は一般のゴミと一緒に捨てないでください。販売店にお持ちいただくか、コダック守谷物流センターへお送りください。
  コダック株式会社守谷物流センターバッテリーリサイクル係
  〒 302-0106 茨城県北相馬郡守谷町緑 2-27-1
  Tel：0297-45-6150

保管容量

下記の数値はおおよその値であり、ファイルサイズ、または カードに他のファイルが含まれているかよって変わります。保管可能な画像／動画の枚数／時間は撮影状況によって異なります。

画像保管容量

	保管可能枚数			
	最高画質 ☆☆☆	最高画質 (3:2) ☆☆☆	高画質 ☆☆	標準画質 ☆
32 MB 内蔵メモリー ＊	17	19	26	46
16 MB SD/MMC	9	10	13	23
32 MB SD/MMC	19	21	29	50
64 MB SD/MMC	38	43	58	101
128 MB SD/MMC	79	88	118	204
256 MB SD/MMC	160	179	242	415

* お気に入りに画像を保管していると、内蔵メモリーの容量が少なくなります。

動画保管容量

	動画の分数／秒数	
	最高画質 ☆☆☆	高画質 ☆☆
32 MB 内蔵メモリー ＊	1 分	2 分
16 MB SD/MMC	1 分 5 秒	2 分 15 秒
32 MB SD/MMC	2 分 15 秒	4 分 30 秒
64 MB SD/MMC	4 分 30 秒	9 分
128 MB SD/MMC	9 分	18 分
256 MB SD/MMC	18 分	36 分

* お気に入りに動画を保管していると、内蔵メモリーの容量が少なくなります。

節電機能

操作しない時間	カメラの動作	オンに戻す方法
1 分	画面がオフになります。	OK ボタンを押します。
10 分、または 5 分、3 分、または 1 分から選択	自動的に電源がオフになります。	オン／オフボタンを押します。

ソフトウェアとファームウェアのアップグレード

Kodak EasyShare ソフトウェア CD に添付されているソフトウェアとカメラのファームウェア(カメラ上で実行されているソフトウェア)の最新バージョンをダウンロードするには、www.kodak.co.jp を参照してください。

規格との適合

FCC 準拠および勧告

Kodak EasyShare LS753 ズームデジタルカメラ

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。

この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件で電波干渉が起こらないという保証はありません。

この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は（装置をオフ／オンにして調べます)、次の方法をいくつか試して、問題を修正することをお勧めします。1）受信アンテナの方向や位置を変える、2）装置と受信機の距離を離す、3）受信機を接続している回路とは別の回路の差し込みに装置を接続する、4）ラジオ／テレビの販売店か経験ある技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利を喪失することがあります。製品、指定の追加部品、または製品の取り付けに使用される付属品と一緒にシールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC規制に確実に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。

カナダ通信局声明文

通信局クラスB準拠 — このクラスBデジタル装置は、カナダのICES-003に準拠しています。

Observation des normes-Class B — Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

VCCI Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電場障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

MPEG-4

消費者が個人的かつ非営利目的で使用する場合を除き、MPEG-4ビジュアル規格に準拠した、いかなる方法でも本製品を使用することは禁止されています。

索引

あ

い

う

え

お

か

ら

り

れ

ろ